

委員会での主な審議内容

農地集積協力金・農地集約の見通しは

〈今村委員〉

50a以上集約で3万円/10aは、その年1回だけか。また30年度実績と同様の集約が見込めるのか。

〈農政課審議員〉

対象のうち1つにつき、1回。直近の農業委員会で利用権設定状況から十分見込める額である。積極的活用を願い集約を図りたい。

赤ワイン用ぶどうの試験栽培とは

〈笠野副委員長〉

ぶどうの栽培に雨よけハウスは必要か。

〈農政課審議員〉

西日本では梅雨があるため受粉の時期と、水分管理のため雨除けで栽培されている。

〈笠野副委員長〉

試験栽培をして果実が4年後、さらにワインに加工して2~3年、合計6~7年の期間が必要となる。村長の言う儲かる農業ではない。

〈農政課審議員〉

国産ワインの表示方法が変更、その土地の材料を80%以上使わないと「南阿蘇村〇〇ワイン」と名乗れない、1本4,000円程度で売れないと採算が合わない。

〈後藤委員〉

試験栽培は大学に委託できないのか。どう考えても時間がかかりすぎではないか。初期投資も必要であり経済的な面を考えたら厳しいのではないか。

〈笠野副委員長〉

試験栽培であればもっと費用のかからない方法を考えた方がいいのでは。

農地災害復旧費助成金は

〈後藤委員〉

この事業は昨年5月までに申し込んでいないと対象とならないのか。期限について農家に対し周知徹底はできていたのか。受益者負担が減るような段取りをどこまでしているのか、資料の提出を。

〈農政課長補佐〉

事業申請は昨年5月まで、工事は32年3月末日までである。国庫補助対象以外は他に補助がなかった。県内でも村単独の補助決定は早い方であった。

野菜半自動移植機・色選別機導入、 管理の在り方は

〈今村委員〉

特殊な機械はだれでも使えるのか、村所有の機械が増えてきている。今後管理が大変になってくることが予想される。それと現在の精米プラントに色選機はついているが新たに購入するのか。

〈笠野副委員長〉

色選別機は玄米と白米兼用だと思う。

〈農政課長補佐〉

今回入れるのは玄米用の色選機、村長の意向。

〈今村委員〉

調べて詳しく報告を。

村営住宅、個人で増築された分の対応は

〈笠野副委員長〉

震災復旧工事で団地の外壁工事がされているが、個人で増築したものはどうなるのか。撤去や今後増築させないなど対応しているのか。

〈建設課審議員〉

テラスや小部屋を作っておられるが、中には大掛かりな撤去が必要なものもある。基本的には設置者に撤去してもらい、以後については制約をつけたい。

その他報告

- ・土地改良区の組織合併、現状を報告

その他の質問や要望

〈笠野副委員長〉

- ・そば作付振興補助は、種子を補助してはどうか
- ・長陽地区の新規工事計画は

〈桐原委員長〉

- ・担い手確保、経営強化支援事業補助金の進捗は
- ・小規模住宅地区等改良事業の期限は

〈今村委員〉

- ・道路の凹凸やひび割れは早めの補修を
- ・県道河陰阿蘇線の付け替え分はルート of 把握はできているのか

委員長報告

表決の結果、反対1の賛成多数で、当委員会に付託された予算案等は、原案どおり可決すべきものと決定した。